

平成 23 年 11 月 14 日

各位

一般社団法人 全国銀行資金決済ネットワーク

### 第 6 次全銀システムの稼動について

本日、第 6 次全国銀行データ通信システム（全銀システム）が稼動いたしました。

全銀システムは、日本国内の金融機関をオンラインで接続し、銀行振込や給与振込などの為替取引を交換しているネットワークシステムであり、一般社団法人全国銀行資金決済ネットワーク（理事長：和田耕志）が運営しています。

全銀システムは、昭和 48 年の稼動以来数次にわたり、取扱量や接続先の増加、技術革新への対応等の観点からシステム更改を行っており、今回は第 6 次システムにあたります。

第 6 次全銀システムでは、1 億円以上の振込取引を新たに日銀ネットの即時決済システムで決済することにより、支払決済システムの国際基準に対してより高いレベルで対応しています。また、処理性能の向上や、XML 言語による電文交換を可能にするなど、将来的な業務拡張に備えたシステムの柔軟性向上を図っています。

当法人は、お客さまの振込を取扱う社会的インフラとしての責任を自覚し、システムの安定稼動を最優先としながら、引続きお客さまや金融機関のニーズを踏まえて、決済システムの効率化、および業務継続体制の強化等に取り組んで参ります。

以上

【本件照会先】企画部 小暮 濱崎（Tel 03-5252-4315）

## 第5次全銀システムと第6次全銀システムとの比較

項 目	第6次全銀システム	第5次全銀システム
1. センタ構成	東京・大阪2センター	同左
2. センタ設備	マルチホスト構成	同左
3. 通信回線	IP-VPN 網	フレームリレー網
4. 処理能力	テレ為替	2,000 万件／日
	MT データ伝送	400 万件／日
	新ファイル転送	2,600 万件／日
5. 新機能	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大口内為取引の日銀ネット次世代RTGS(第2期対応)による決済への対応</li> <li>・新ファイル転送の導入</li> <li>・XML(拡張可能なマーク付言語)形式の電文への対応</li> <li>・情報系システムの機能拡充(各種申請等への対応)</li> <li>・電子記録債権に係る専用電文への対応</li> </ul>	同左

(ご参考) 全国銀行内国為替制度には、平成23年10月末現在、1,371行(32,515店舗)の民間金融機関が加盟しています。また、平成22年度の取扱高は、件数が13億7,257万件(1日平均約560万件)、金額が2,608兆円(1日平均約10兆6千億円)となっています。